



©中村いさむ

昨年に引き続いて今年もまた宗次ホールに出演できることを心より嬉しく思います。今年(2017年)は私にとって日本コンサートデビュー 20周年という節目の年にあたるのですが、宗次ホールさんもオープン10周年を迎えられたとのこと。おめでとうございます。宗次ホールさんの今後一層のご発展を祈念すると共に、私自身も更なる精進を重ねていきたいと思ひます。

さて、今回のプログラム、前半のテーマはベートーヴェンに始まりリストによって展開された「ドイツ・ロマン主義」です。ドイツ・ロマン主義のエッセンスは、観念と現実のはざままでダイナミックに揺れ動く人間精神にこそありますが、そのような精神性を少しでも感じていただけるよう、全力で演奏したいと思います。後半は様相を変えて、純粋な「ピアノ主義」の世界。ピアノの詩人ショパンと、「ロシアのショパン」とも称されるメトネルの作品をお聞きいただきます。ピアノでしか表現できない究極の美の世界をお楽しみいただければ幸いです。

イリーナ・メジューエワ



…内省的で厳しく、恐ろしい音が全体を支配したかと思うと、ふと優しく包み込むような音で癒してくれる。メジューエワさんはこの対極にある音楽を、みごとにまで表情豊かに聞かせる。
(高坂はる香/ライナーノートより)

この人の大成は、今や動かし得ない事実として目前にあるのだと納得せぬわけには行かない(中略)言い知れぬ端々しさを湛えたタッチの美しさ。デリケートに変化するその美しい音を自在にまろばせながら、絶えず心に触れる”歌”を、メジューエワは紡ぎつづける。

(2010年レコード芸術)

イリーナ・メジューエワ IRINA MEJOUÉVA, Piano

ロシア生まれ。5歳よりピアノを始め、モスクワのグネーシン特別音楽学校とグネーシン音楽大学(現ロシア音楽アカデミー)でウラジーミル・トロップ教授に師事。1992年ロッテルダム(オランダ)で開催された第4回エドゥアルド・フリプセ国際コンクールでの優勝をきっかけに、一躍脚光を浴びる。1997年からは日本を本拠地として活動を始める。

バロック、古典派から近・現代にいたる作品まで幅広いレパートリーをもつ。特に、近年再評価の進むロシアの作曲家ニコライ・メトネルの作品紹介に力を入れており、2001年にはメトネル没後50年を記念したシリーズ「忘れられた調べ」で、その主要作品を4夜にわたって取り上げ称賛される。2002年、スタインウェイ・ジャパン株式会社によるコンサートツアーを行い、2003年にはサンクトペテルブルク放送交響楽団の日本ツアーにソリストに起用される。2005/06年のシーズンにはザ・シンフォニーホール(大阪)で4回にわたるリサイタル・シリーズを開くなど、多彩な演奏活動を展開している。

これまでにロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ交響楽団、サンクトペテルブルク放送交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、九州交響楽団、山形交響楽団、広島交響楽団などと共演。

卓越した数々の録音は高い評価を受けており、中でも“私たちの心をそっと包み込んでくれる。そんな優しさで大きさ……。すばらしい精神的な境地だ”(2010年レコード芸術)と大絶賛された「ショパン: ノクターン全集」(若林工房)は、2010年度レコードアカデミー賞(器楽曲部門)に輝く。2006年度青山音楽賞受賞。2015年、第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞(クラシック部門、独奏・独唱部門賞)を受賞。現在、京都在住。日本語も流暢に話し、落語や歌舞伎など日本伝統文化にも造詣が深い。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール

Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 ☎460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)